ごあいさつ

滝沢市立滝沢中学校
校長　藤澤　英輝

本校は昭和２２年４月に滝沢小学校に併設される形で開校しましたが、昭和３９年篠木中学校と統合し滝沢南中学校が開校したことにより、一度その歴史に幕を閉じました。その後、昭和６１年４月に２１世紀を担う人材育成の場として、再び滝沢中学校という名誉ある校名を掲げ開校し、今年で創立３６年目を迎えました。平成２８年１１月には、創立３０周年記念式典を挙行し、これまで歩んできた歴史振り返る良い機会とすることができました。校舎は北西に岩手山、東に早池峰山、北東に姫神山を望む小高い丘陵に位置し、市内はもちろん盛岡市、遠くは区界高原まで遠望することができます。

滝中といえば「合唱」「応援」「清掃」。この滝中三大文化の充実発展のため、執行部を中心に全校生徒が一丸となった生徒会活動を展開しています。部活動も盛んで、４月の第７４回盛岡市内一周継走大会では男子が２位に入賞、６月の通信陸上岩手県大会では、多くの生徒が上位入賞を果たし、２３名が東北大会に出場します。

同じく６月の地区中総体ではソフトボール部が優勝、バスケットボール女子、バレーボール男子、ソフトテニス男子個人、剣道男子個人、柔道団体では男女とも２位に入賞するなど活躍しましたし、７月に開催された県中総体では陸上競技の男子が総合優勝、女子も総合準優勝、男子２００ｍでは全国大会出場者も出ました。柔道女子の個人戦でも２位入賞、東北大会出場を決めるなど、生徒の活躍は枚挙にいとまがありません。

今年度も未だコロナ禍の収束に目途が立たず、行く先も不透明な日々が続いてはいますが、滝沢市の目指す学校像である「正義」と「信頼」のある学校を実現し、教育目標である「高い知性」「強健な身体」「深い思いやり」のある生徒の育成のため、ご家庭や地域の皆様方のご協力とご支援を賜りながら取り組んで参ります。今後もどうぞよろしくお願いします。

令和３年７月